

マニュアル

SpaceMouse® Wireless

Bluetooth® Edition



ドライババージョン： 3DxWare 10.8.17以上

目次

目次

クイックスタートガイド	3
デスクトップセットアップ	3
手の位置	3
インストール	3
特集ガイド	4
3Dconnexion SpaceMouse ボタン	4
3Dconnexionの設定	6
詳細設定	7
アプリケーション固有の詳細設定	8
ボタン	10
クイックマクロをボタンに割り当てる	10
フライアウトウィンドウを使ったコマンドの割り当て	11
3Dconnexion ホーム	11
技術仕様	16
安全性、コンプライアンス、保証に関する情報	17

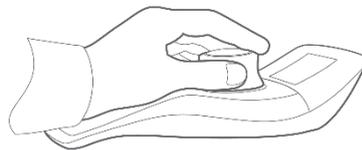
クイックスタートガイド

デスクトップセットアップ



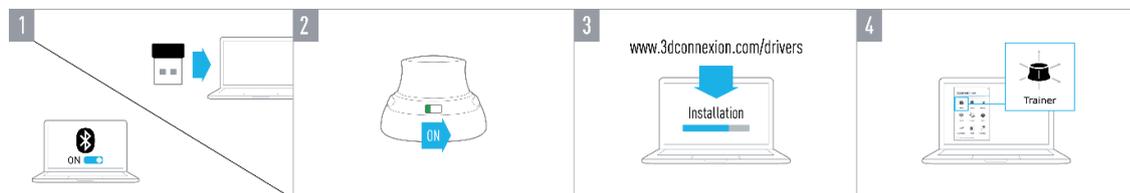
SpaceMouse Wirelessを標準マウスとキーボードの反対側に置きます。片方の手で3Dマウスを操作し、モデルを回転、パン、ズームします。もう片方の手は標準のマウスを使って、選択、作成、編集を行います。

手の位置



図のように手を置きます。輪郭のあるコントローラーキャップが、指を正確で楽なコントロールのための完璧な位置に導きます。

インストール



1. USBレシーバーを接続する

付属の3Dconnexionユニバーサルレシーバーをパソコンに接続します。

2. SpaceMouse Wirelessをオンにする

SpaceMouse Wirelessの背面にある電源スイッチをオンにします。

3. 最新の3Dconnexionソフトウェアをダウンロードしてインストールする

3Dconnexionの「3DxWare」というソフトウェアの最新バージョンがインストールされているか確認してください。最新バージョンは、3dconnexion.com/jp/drivers/ からダウンロードできます。

4. SpaceMouse Wirelessを習慣化する

3Dconnexion ホームを開き、トレーナーを起動し、SpaceMouse Wirelessの最初一歩を実行するためのヘルプが表示されます。

特集ガイド

3Dconnexion SpaceMouse Wireless Bluetooth Edition

ON/OFFスイッチ

3Dconnexionボタン

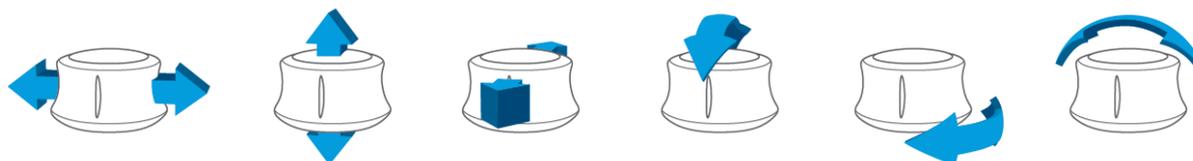


コントローラーキャップ

ステータスLED

コントローラーキャップ

コントローラーキャップは、SpaceMouse Wirelessの要ともいえる部分です。その6DoF（6自由度）センサーにより、描画や3Dモデルを押す、引く、傾ける、パン、ズーム、回転させることができます。SpaceMouseは、使用しているアプリケーションに応じて異なるモーションプロファイルを持っています。オブジェクトモードのアプリケーションでは、3Dナビゲーションが、画面の中に手を伸ばしてオブジェクトを直接動かしているかのように動きます。フライモードのアプリケーションでは、まるであなたが飛行カメラを見ているかのような感覚になります。多くのアプリケーションでは、この動作をSpaceMouse Wirelessの詳細設定で調整できます。



3Dconnexion ボタン

スペースマウス・ワイヤレスには、ソケット上にプログラム可能なファンクションボタンが2つ追加されています。使用中のアプリケーションとその環境を即座に認識し、よく使うコマンドを自動的にボタンに割り当てます。ファンクション・ボタンに割り当てるコマンドは、**3Dconnexion Settings**を使ってパーソナライズすることができます。

SpaceMouse Wirelessへの接続

SpaceMouse Wirelessは、同梱の3Dconnexion Universal Receiver, 3Dconnexion Keyboard Pro, Bluetooth、またはUSBケーブルを経由して接続することができます。

注意：SpaceMouse Wirelessは工場ではUniversal Receiverとペアリングされているため、BluetoothまたはKeyboard Proとペアリングする前に、まずコンピューターからUniversal Receiverを取り外す必要があります。

Pairing via Bluetooth / Bluetoothによるペアリング：

デバイスの電源を入れ、青い点滅が始まることを確認してください。次に、PCのBluetooth設定を開き、Bluetoothが有効になっていることを確認し、[Add device/デバイスの追加]をクリックし、[Bluetooth]を選択し、リストからSpaceMouseデバイスを選択します。

3Dconnexion Keyboard Proによるペアリング（日本国内ではKeyboard Proは販売されていません）：

Windowsのスタートメニューにアクセスし、3Dconnexionペアリングツールを起動します。次に、[Add device/デバイスの追加]を押し、3Dconnexionペアリングツールの指示に従って、SpaceMouse WirelessをKeyboard Proに接続します。

SpaceMouse Wirelessの充電

SpaceMouse WirelessのステータスLEDが赤く点滅すると、バッテリー残量が10%未満となり、充電する必要があります。付属のUSBケーブルを使用してSpaceMouseをコンピューターの充電ポートに接続します。SpaceMouse Wirelessの充電中、ステータスLEDは緑色で点滅し、充電が完了するとLEDは緑色に点灯します。

ステータス LED

SpaceMouse Wirelessは、バッテリーの状態と接続状態を表示するLEDを備えています。

■ バッテリーの状態:

デバイスをオンにした直後またはスリープからの復帰後、LEDは現在の充電レベルを表示します。

- 緑 SpaceMouse Wirelessは十分に充電されています。
- 赤 SpaceMouse Wirelessの充電が10%未満であり、充電が必要です。

■ ペアリング及び接続の状態:

バッテリーステータスが表示された後、デバイスは現在の接続とペアリングモードを表示します。

- 白（点灯） 3Dconnexionワイヤレスモードで正常に接続されました。
- 白（点滅） 3Dconnexionワイヤレス接続の準備ができています。

- 青（点灯） Bluetoothモードで正常に接続されました。
- 青（点滅） Bluetooth接続の準備ができています。

デバイスが正常に接続された後、LEDは消灯します。

LEDリング

SpaceMouse WirelessのLEDリングは、接続ステータスに関する更なる情報を提供します。

- 点灯後に暗くなる：SpaceMouse Wirelessが正常にペアリングされました。

3Dconnexionの設定

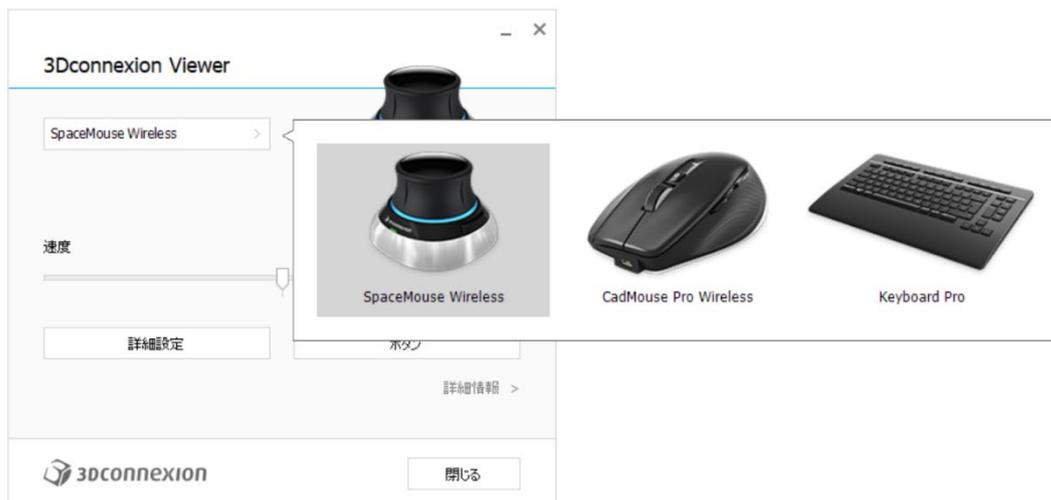


3Dconnexion設定 パネルには、3Dconnexionホーム（デスクトップ）、通知領域（システムトレイ）のアイコン、またはWindowsのスタートメニューからアクセスできます。アクティブなアプリケーションの名前はパネルの上部に表示されます。設定変更は、このアプリケーションにのみ関連します。現在の接続モードとバッテリー残量は、製品画像の下にあるアイコンに表示されます。



スピード

このスライダーはデバイスの全体的なスピードを設定します。言い換えれば、オブジェクトやシーン、画像を動かすためにスペースマウスのキャップに加えるべき力やトルクの量を変えます。



複数の3Dconnexionデバイスが接続されている場合、パネル左上のフライアウトボタンをクリックして、設定する製品を選択できます。

詳細設定

詳細設定 パネルで設定できる内容は、アプリケーションごとに異なります。そのため、SpaceMouse Wirelessが各アプリケーションでお好みの動作をするように簡単に設定できます。



ナビゲーション

パン/ズーム: パーツ、アセンブリ、図面のパンニングを有効/無効にします。デフォルトでは有効になっています。

回転: 部品、アセンブリ、図面の回転を有効/無効にします。デフォルトでは有効になっています。

ドミナント: この軸を有効にすると、パン、ズーム、回転が1つの軸に制限されます。

ズーム方向

前方/後方: 机と平行にキャップを手前または奥に押してズームします。

上/下: キャップを上引くか、画面と平行にキャップを下に押してズームします。

スピード

スライダーを使用して、6 自由度のそれぞれのスピードを個別に設定します。動きの方向を逆にするには、その動きのReverseボックスをチェックします。

アプリケーション固有の詳細設定

アプリケーションによっては、SpaceMouseの追加設定があります。そのようなアプリケーションでは、**詳細設定パネル**で追加オプションを利用できます:



ナビゲーション・モード

オブジェクトモードは、オブジェクトモードナビゲーションを有効にします - このモードは、スクリーンに手を伸ばし、モデルを手を持っているようなものです。SpaceMouseのキャップを左に押すと、モデルは左に動きます。右に押すと、モデルは右に動きます。

フライモードでは、コントローラーキャップをフライングカメラのように使用することができます。シーンに押し込むと、カメラはシーン前方に飛びます。左に押すとカメラは左に飛びます（シーンは右に移動します）。上に持ち上げると、カメラは上に飛びます（シーンは下に移動します）。シーン内を飛び回るようにシーンに入っていく。

ターゲットカメラモードは、ターゲットカメラモードナビゲーションを有効にします。スペースマウスのキャップをターゲットカメラのように操作します。シーンの中に押し込むと、カメラはシーンの中に前進します。左に押すと、カメラは左に移動します（シーンは右に移動します）。上に持ち上げると、カメラは上に移動します（シーンは下に移動します）。キャップを任意の方向に回転させると、ターゲットポイントの周りを周回します（下記の回転中心を参照）。

ドローンモードはフライモードナビゲーションを可能にするが、下を向いたままキャップを前に押してもカメラの高度は変わらない。

ロック・ホライズンは、現在の水平を維持するように強制する。



ローテーション・センター

Autoは回転の中心を動的に設定します。モデル全体が表示されているときは、モデル全体の体積の中心が回転点として使用されます。近づくと、回転中心はビューの中心に近いオブジェクトに設定されます。

選択された項目を使用(Use selected item)は、現在選択されているオブジェクトのみを考慮した回転中心を強制します。

常に表示は常に回転中心を視覚化する。

Show on Motionは、移動中のみ回転中心を表示します。

隠すは回転中心の可視化を無効にします。

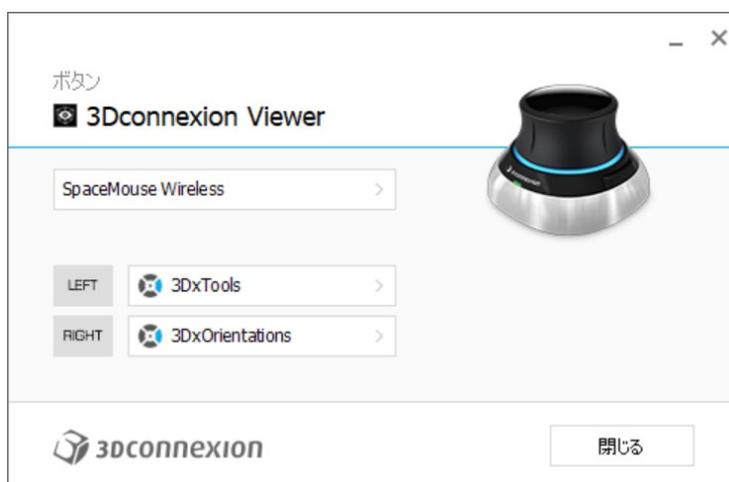
その他のオプション

以下のアプリケーションは特別なオプションを備えています。詳細は[3Dconnexion FAQ](#)をご覧ください:

Autodesk 3ds Max、Autodesk Maya、Autodesk Revit、Cinema 4D、Solid Edge、SOLIDWORKS、Unity、Unreal Engine

ボタン

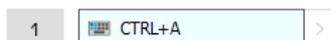
3Dconnexion SettingsのButtonsパネルでは、コマンド、マクロ、ラジアルメニューを割り当てることができます。アクティブなアプリケーションの名前はパネルの上部に表示されます。設定変更はこのアプリケーションにのみ関連します。



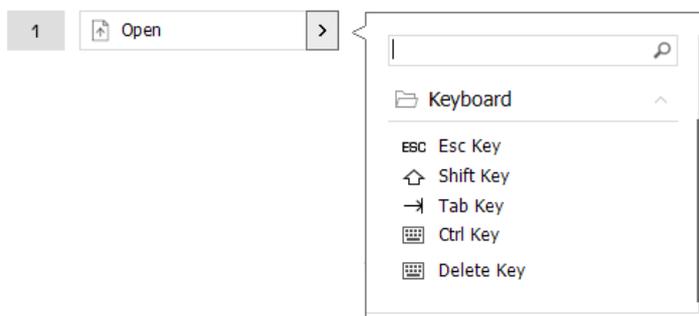
環境感度についての注意：一部のアプリケーションでは、環境依存のキーマッピングが可能です。そのようなアプリケーションでは、現在アクティブな環境に応じて異なるキー割り当てが可能です。

クイックマクロをボタンに割り当てる

入力フィールドのテキストをクリックし、必要なキーまたはキーの組み合わせを押して、キーストロークまたはマクロをすばやく割り当てます。



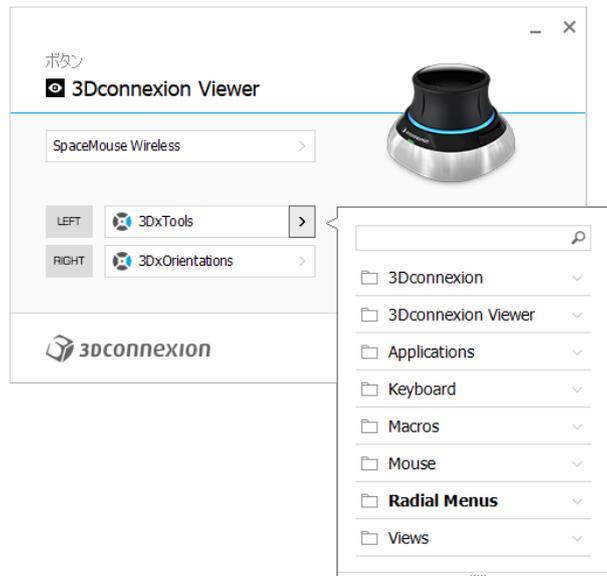
マクロを作成すると、常に**プレス&リリース**コマンドを送信します。代わりに**プレス&ホールド**コマンド（例えばCtrlやShift）を割り当てたい場合は、フライアウトウィンドウのキーボードコマンドカテゴリを使用してください。



フライアウトウィンドウを使ったコマンドの割り当て

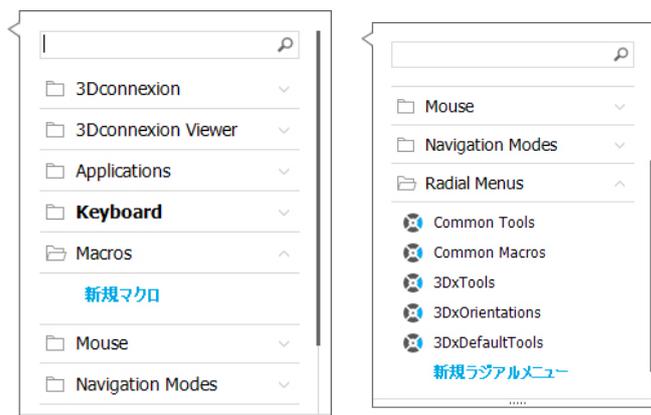
ボタンフィールドの右側にある>矢印をクリックすると、そのSpaceMouseボタンのフライアウトウィンドウが開きます：

フライアウトウィンドウでは、さまざまなカテゴリからコマンドを参照または検索することができます。コマンドをクリックして選択すると、対応するSpaceMouseボタンに自動的に割り当てられます。現在割り当てられているコマンドのカテゴリは太字で強調表示されます。



マクロ及びラジアルメニューの作成

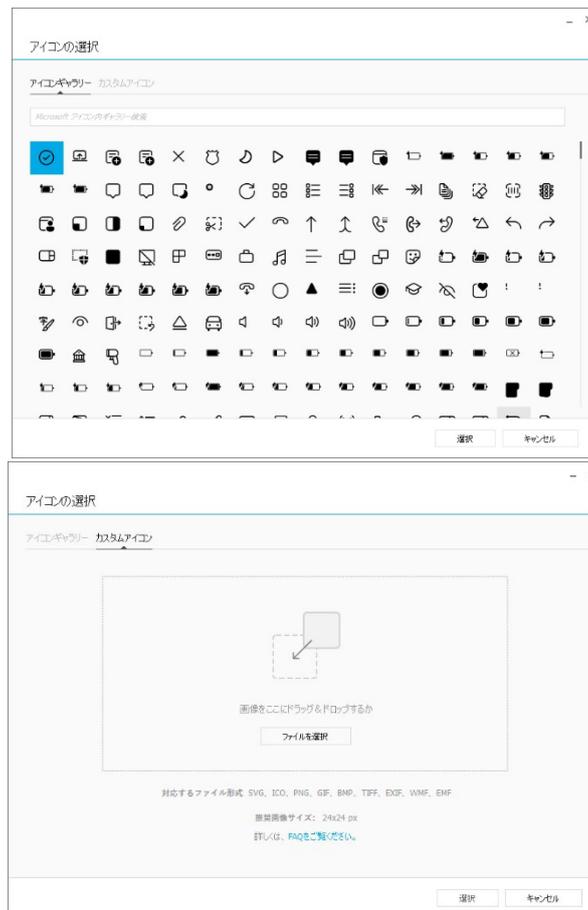
新しいマクロまたはラジアルメニューを作成するには、まずキーフィールドの右側の>矢印をクリックし、次にマクロ又はラジアルメニューカテゴリを展開し、新しいマクロ又は新しいラジアルメニューをクリックします。



マクロ及びラジアルメニューへのアイコンの割り当て

最初のステップでは、マクロまたはラジアルメニューに名前を付け、アイコンを割り当てるように求められます。

アイコンギャラリータブで提供されているアイコンのうちの1つを使用するか、カスタムアイコンタブで独自のアイコンをアップロードするかを選択できます。



注意: アイコンに使用する画像は500 x 500ピクセル以下でかつ、次のファイル形式のいずれかである必要があります: SVG、ICO、PNG、GIF、BMP、TIFF、EXIF、WMF、EMF。最適な表示結果を得るためには、透明な背景を持つ24 x 24ピクセルの画像をお勧めします。

マクロの作成

一連のマクロを作成する際、「ステップの追加」で実行内容を選択することによりマクロシーケンスを編集することができます。



このシーケンス内で、「コマンド」ステップにキーボードショートカットを割り当てることができ、また、アプリケーションコマンドを割り当てるためにフライアウトウィンドウを使用することもできます。「テキスト」ステップでは、マクロにテキストブロックを追加できます。「ディレイ」ステップは、アプリケーションの読み込み時間が長い場合に対処するためのものです。

マクロのシーケンスは、単一のステップを適切な順序にドラッグしたり、不要なステップを削除したりして編集できます。マクロの編集が完了したら、次回以降開くパネルのボタンに新しいマクロを自動的に割り当てることができるよう保存をクリックします。

ラジアルメニューの作成

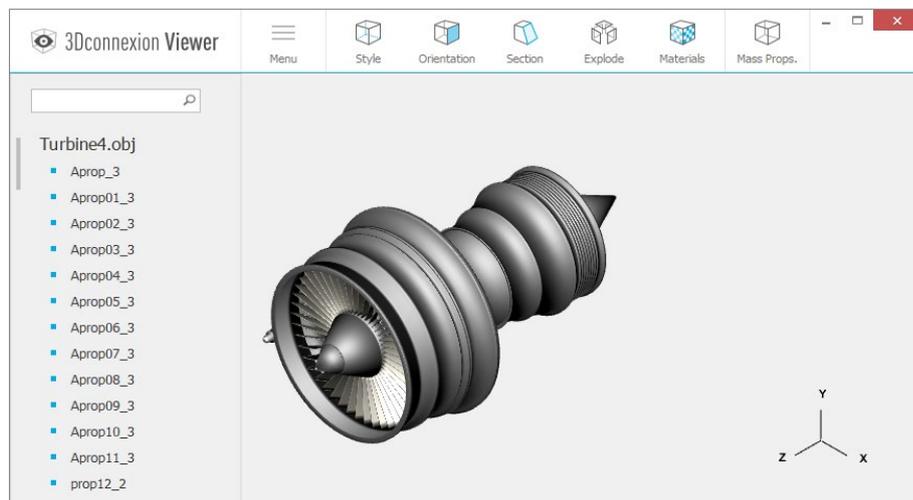
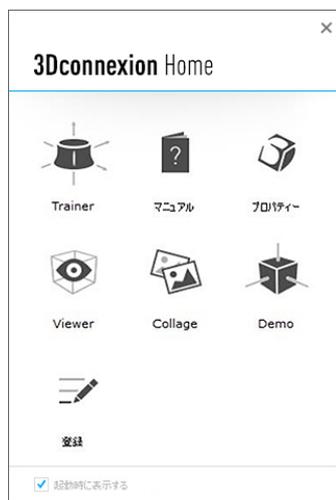
新しいラジアルメニューを作成する際、まずは4つのセクション又は8つのセクションのレイアウトのいずれかを選択できます。異なるセクションにコマンドやマクロを割り当て、ラジアルメニューを保存します。新しいラジアルメニューは、次回以降開くパネルのボタンに自動的に割り当てられます。



3Dconnexion Home



最新の3Dconnexionドライバーを正常にインストールすることにより、3Dconnexion Homeから様々な3Dconnexionアプリにアクセスできます。



Trainer:

3Dconnexion SpaceMouseを迅速に使用方法を学びましょう。



マニュアル:

こちらからは、すべての3Dconnexion製品のマニュアルを読むことができます。



設定:

設定パネルを開いて、3Dconnexionデバイスをカスタマイズできます。



Viewer:

3Dconnexion Viewerを使用して3Dモデルを確認してください。

サポートされているフォーマット (.stp、.step、.igs、.iges、.obj、.stl、.ply、.jt、.glTF)



Demo:

飛行機のランディングギア (着陸装置) を組み立てて、スキルをテストし、練習してみてください。



Registration / 製品登録:

インストール後に製品登録して、3Dconnexionのサービスをお役立てください。



動画:

3Dconnexionデバイスのトレーニング動画を視る。



フィードバック

3Dconnexion製品チームへのフィードバック。

技術仕様

寸法と重量

長さ: 78 mm / 3.1"

幅: 78 mm / 3.1"

高さ: 53 mm / 2.1"

重量: 450 g / 0.99 lb / 15.87 oz

バッテリー - 3Dconnexion SpaceMouse Wireless

再充電可能なリチウムポリマーバッテリー、容量1,100 mAh

サポートされているオペレーティングシステム

Microsoft Windows、
macOS

[OSに関する詳細情報](#)

[報](#)

サポートされているソフトウェア

[サポートに関する詳細情報](#)

パッケージ内容

- 3Dconnexion SpaceMouse Wireless Bluetooth Edition
- キャリーケース
- 3Dconnexion Universal Receiver
- ケーブル USB-A / USB-C (1.5m)

部品番号

梱包単位番号（パッケージに記載）： 3DX-700115

部品番号（デバイス上）： 3DX-600060

安全、コンプライアンスおよび保証情報

製造者

3Dconnexion GmbH
Clarita-Bernhard-Straße 18
81249 Munich
Germany

認証及び登録

CE, UKCA, EAC, FCC, IC, MIC, KC, RCM, BSMI, NCC, WEEE, RoHS-EU, RoHS-CN

[認証及び登録に関する詳細情報](#)

保証

製品本体に限り3年間保証

無線周波数情報

周波数帯：2404 - 2477 MHz、最大電波強度：0

dBm

バッテリー警告

[バッテリーに関する詳細情報](#)